

当院急性期および回復期病棟にてリハビリテーションを受けられた中枢神経疾患の患者様へ
(診療録情報を用いた研究実施のお知らせ)

研究課題名： 装具チームによる担当者へのコンサルテーションが下肢装具の検討過程に与える影響

当院では、上記の研究を実施しております。この研究は、過去に当院の急性期・回復期病棟に入院され、リハビリテーションを受けられた中枢神経疾患の患者様の診療記録（カルテ）を匿名化した上で分析し、装具チームによる能動的な介入が、適切な下肢装具の適応判断にどのように関連しているかを調べるものです。

本研究へのご自身の情報の利用を希望されない場合は、大変お手数ですが下記の連絡先までお申し出ください。ご連絡がない場合は、ご了承いただいたものとして慎重に取り扱わせていただきます。
研究への情報利用を拒否された場合でも、今後の診療等において患者様が不利益を被ることは一切ございません。

【研究の詳細】

研究の対象となる方:

2024年4月1日から2026年3月31日までの期間に、当院急性期および回復期病棟へ入院され、リハビリテーションが処方された中枢神経疾患の患者様（主たるリハビリテーション対象が脊椎疾患等の場合を除く）

研究の目的:

当院では、歩行障害を有する患者様に対し、適切な下肢装具を処方すべく、装具チームによる装具検討会（患者様に適した装具を選定するための話し合い）を実施しています。より適切な時期に必要な方へ装具を提供できるよう、装具チームが能動的に患者様をスクリーニングする体制としております。本研究では、この能動的な介入体制の導入により、装具作製の適応評価がより網羅的に行われ、意思決定の質が向上したかを明らかにすることを目指しています。この知見は、今後の患者様に対するより質の高いリハビリテーションおよび装具療法の提供体制構築に役立つことを期待しております。

研究の方法・期間:

上記の対象となる患者様の診療記録から、年齢、性別、疾患名、発症日、下肢運動麻痺の程度（下肢BRS）、装

具検討会実施の有無や実施日、装具作製の有無、作製した装具の種類（短下肢装具・長下肢装具）といった情報

を収集させていただきます。これらの情報を統計的に分析し、介入体制の前後での変化を調査します。この研究は、既に診療のために記録されている情報のみを使用するため、患者様に新たにご来院いただいたり、追加の検査やアンケートをお願いしたりすることは一切ございません。また、患者様に費用が発生することもしません。研究の実施期間は、倫理委員会承認後から2027年3月31日までを予定しております。

個人情報の取り扱いについて（当院における研究データの取り扱いについて）:

収集させていただく診療記録の情報は、お名前、住所、電話番号など、患者様個人を直接特定できる情報は一切含めません。代わりに、研究用の番号や記号に置き換える作業（匿名化）を行った上で、データとして厳重に管理し、統計的な分析にのみ使用します。この研究は、厚生労働省が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等）および当院の倫理規定に基づき、個人情報保護に最大限配慮して実施されます。研究の成果は、学会発表や学術雑誌などで公表されることがありますが、その際も個人が特定できる形で情

報が公開されることは一切ありません。

研究への参加と拒否について:

この研究へのご自身の情報の利用は、患者様の自由意思に基づいています。もし、ご自身の情報がこの研究に利用されることを希望されない場合は、下記の拒否期限までにお申し出ください。お申し出いただいた場合、患者様のデータは研究利用から確実に除外いたします。情報利用を希望されない場合でも、患者様が今後の診療において不利益を被ることは一切ありません。ただし、研究結果が既に論文等で公表されてしまった後など、タイミングによってはお申し出に対応できない場合があることをご了承ください。

【お問合せ等について】

この研究に関してご不明な点やご心配なこと、あるいはご自身の情報の利用を希望されない場合は、お手数ですが下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【連絡先】

医療法人讃和会

友愛会病院

〒559-0006 大阪市住之江区浜口西 3-5-10

FAX：06-6672-3692 （当研究相談窓口 メールアドレス：d-kamitani@sanwakai.jp）

研究責任者：リハビリテーション科 科長 神谷 太輔

実務責任者：リハビリテーション科 理学療法士 兼子 航太郎

研究への情報利用に関する拒否の申出期限：2027 年 3 月 31 日